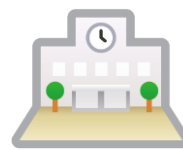


「積小為大」

校長 桐野 和之

この積小為大という四字熟語をご存じですか。何と読むのかふだんあまり使用する言葉ではないので難しいでしょうか。「積」は「せき」と読みます。「つむ」という意味があります。「小」は読めると思いますが。「しょう」です。「ちいさい」という意味です。「為」は「い」と読みます。これは何かを「なす」という言葉の意味があります。「大」は言わなくても分かります。「だい」は「おおきい」という意味です。回りくどい書き方になり申し訳ありません。この四字熟語は「せきしょういだい」と読みます。意味は「小さい事柄を積み重ねて大きな事をやり遂げる」という意味です。この言葉は、江戸時代の農村の指導者、二宮 尊徳が言った言葉だとされています。



二宮 尊徳は、幼いころは金次郎と呼ばれていました。14歳で父親を亡くし、16歳で母親を亡くしました。両親が亡くなった後、金次郎たち三兄弟は、親戚の家にそれぞれあずけられました。金次郎はあずけられた親戚で農業の仕事の手伝いを毎日しました。

ある時、手伝いを終わった後に、田植えが終わった田んぼを見ていると、捨てられている余った苗の束を見付けました。金次郎はその束をもらい受け、荒れた土地を利用して耕し、その苗を植えました。秋には少ないながらも米を収穫することができました。いらぬ米の苗として、そのまま捨てられていけば、米として収穫できません。そこに目を付けた金次郎は賢かったですね。このように小さな事を少しずつ実践して、大きな収穫を得ることを「積小為大」といいます。皆さんの日常生活を振り返った時に、毎日コツコツと続けていることがあるのではないでしょうか。

例えば、野球で打てるようになるために毎日素振りをしている人もいます。あるいは体力をつけるために毎日ランニングをしている人もいます。サッカーが好きな人はリフティングをしているのかもしれませんが。

毎日続けるとどのような成果や効果があるか想像してみてください。一日に50ページの読書をする、10日で500ページになります。一年間では365×50ページでなんと18,250ページも読むことができます。毎日漢字を10個ずつ書き取り練習して覚えていくと、3,650字の漢字を覚えることになります。(忘れてしまう漢字があるかもしれませんが・・・) 小さな事を積み重ねていくと、大きな実を結ぶということです。

「プロ野球選手になりたい」と夢を見ただけでは夢はかないません。「足が速くなりたい」と願っただけで、次の日には足が速くなっていた、なんて聞いたことはありませんね。勉強も同じです。コツコツと毎日続けることによって、それが力となり、昨日と違う自分をつくっていきます。一日や二日で大きな変化が見られないからといって、あきらめてはいけません。一年後、二年後を考えて行動することが大切です。皆さんには「積小為大」とい言葉をつうじて、年のはじめに新たな目標をぜひ、もってもらいたいと思います。何かをただやみくもに続けるのではなく、自分をしっかりと高める目標をもち、その実現のために、自分が日常できる、続けられる事柄を探して取り組んでみてください。少しずつの積み重ねを確実に続けることにより大きな成果となってあらわれるはずですよ。



「諦めない心」

3 学期始業式講話

皆さんは、パナソニックという会社を知っていますね。そのパナソニックを一代で築いたのが松下幸之助さんという方です。

この人は、簡単に取り外しのできる電球ソケットを考案します。と言っても皆さんには分からないかもしれませんね。さらに、二股電球ソケット、自転車用電池ランプ、乾電池などを考案して会社を軌道に乗せました。今では当たり前になっている電気アイロン、ラジオ、テレビ、電気洗濯機、電気コタツ、電気冷蔵庫等の開発も手がけました。晩年には「松下政経塾」を設立して、政治家の育成にも力を注ぎました。



松下さんは数々の苦労や危機を乗り越えた人生を歩みましたが、日本の実業家として世界に名を馳せた人です。そのため、松下さんは多くの名言やエピソードを残しています。その一つにこんな言葉があります。それは、「失敗したところで止めてしまうから失敗になる。成功するところまで続けていれば、それは成功になる。」という言葉です。失敗しても諦めるな。成功するまで続けていれば失敗にはならない。と言っているのです。いかにも、いろいろな発明を考案して成功に導いてきた人という感じです。

皆さんの中には、美術や技術・家庭の作品づくりでうまくできずに途中で放り出してしまった人はいませんか。数学や英語の学習で、内容がよく分からないからと言って投げ出してしまった人はいませんか。途中で止めてしまっただけでは「成功」にならないのです。うまくできないところで放り出さないで続けることが大切なのです。分からないと言って投げ出さず、分かるまで継続して学習に取り組むことが大事なのです。



諦めないでがんばる心、成功するまで続ける強い心をもつことが、失敗しないことの基本なのです。

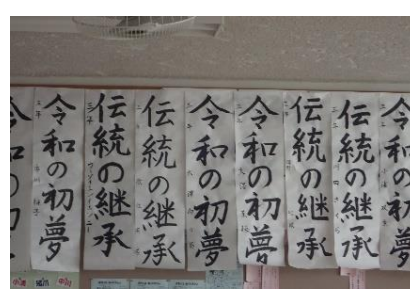
3年生にとって、令和二年は高校受験が控えています。しばらく辛い時期が続きますが、諦めないでがんばる、成功するまで続けるという心と意志をしっかりとって、この辛い時期を乗り切ってください。

また、1、2年生の皆さん、日々の学習や部活動において辛いことから逃げない、失敗したところで止めずに、成功するまで続けるという気持ちを持ち続けてください。

「諦めない心」を皆さん一人ひとりがもってくれる一年であってほしいと思います。

校内書き初め展

1月10日（金）より校内書き初め展が始まっています。冬休みの課題として提出された書き初めが各学年の教室に展示されています。書き初めは一年生が初春令月、共生社会、二年生が平和の祭典、新しい時代、三年生が令和の初夢、伝統の継承からそれぞれ選択して書き初めをしました。皆さんの思いが文字に表れていました。



練馬区生徒作品展

1月11日（土）から1月15日（水）まで区内の中学生の作品を展示した「練馬区生徒作品展」が区立美術館で実施されました。本校は、美術館に近い距離にあるため、各学年とも作品展を見学に行きました。

作品展には、美術科、技術家庭科の作品が学校より出品され展示されました。

技術科は幼児用パズル。家庭科からはファイルカバー、トートバッグ、おしゃべりパペット、美術科からは立体に表す楽しみ、身近な人をみつめて、文様を用いた藍染め、立体的デザイン、木彫なべ敷き、絵文字、スクラッチアートが出品されました。どれもみな素晴らしい作品でした。見学していた生徒たちからも、「すごい、上手、素晴らしい」などの感想が聞かれました。

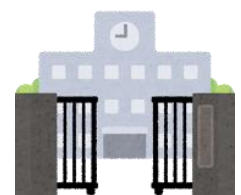


いざ出陣

この学校だよりが発行される頃には、すでに私立高校の推薦入試が終わっていることと思います。今年も3年生にとっては試練の時期、受験シーズンがやってきました。準備はどうでしょうか。体調管理は？といういろいろ聞いてみたくになります。保護者の方々であれば気が気ではない、お気持ちをお察しします。

すでに学校では、年末の個人面接の練習、そして年明けの都立高校推薦入試対策として、集団討論の練習が実施されてきました。

個人面接の練習では、氏名、在籍中学校名、担任の先生の名前、通学時間、通学経路、志望理由、志望校の気に入った点、将来に活かしたい学校の特色、学校の印象、入学後に頑張りたいこと、将来目標としていること、中学校で頑張ったこと、思い出に残っていること、学習で高校入学後どのような努力をしたいのか、自分のPR、将来の夢、最近のニュースや話題で気になったこと、いじめについてどう考えていますか、どんな高校生になりたいですかなど、いろいろなことが質問されてきました。面接する側としては、多くの生徒たちが本当に良く答えられていたと思います。その秘訣はやはりふだんの学校生活にあると思います。日常生活の中で、しっかりとあいさつをしていたり、



礼儀作法がしっかりしていたり、言葉遣いが丁寧な子は、面接でも当然のように出来映えが良いです。おどおどしません。当然のことかもしれませんが、受験というのは、あくまでも日常的なことの積み重ねが活きる場だと思います。

集団討論の場においても、何故自分がそのように考えるのか。ふだん真面目に授業に取り組み、しっかりとした思考やグループ学習等に取り組んでいれば、その力が自然と発揮され、いざという場面でもその力が生きてくると思います。

習得した知識や技能をもとに語ったり、あるいは学校生活における行事等に意欲的に取り組んだりした経験があれば、その力が集団討論にも活かされます。このように考えると、学校生活のその日その日の過ごし方が、勝負の始まりだと言えます。

私には高校受験の前日に高熱を發した苦い経験があります。今それをあらためて振り返ると、単なる油断ではなく、日常の生活の過ごし方に問題があったのだと思います。多分受験を軽く考えていたのだと思います。その自分の愚かな行動に今でも恥ずかしくなることがあります。

生徒の皆さん、日常の生活にこそ将来を決定するさまざまな要素があるということであらためて自覚してください。そして、日常の生活における一つ一つの積み重ねこそが、大切にすべき時間だということも忘れないでください。一瞬、一瞬を無駄にしない生活が大切なのです。

部活動の報告

卓球部

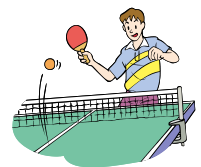
◇第62回東京都中学校新人卓球大会〔個人の部〕：12月26日(水)

結果…男子シングルス 2年 松原 大芽 ベスト32

◇練馬区中学校生徒総合体育大会卓球新人大会〔団体の部〕：1月12日(日)

結果…男子団体 優勝

2年 関口 恭央・前山 颯汰・山縣 碧・山根 侑大・江藤 陸・黒木 咲玖・松原 大芽・橋本 伊央里
※都大会出場決定 1月25日(土)



吹奏楽部

◇第53回アンサンブルコンテスト 1月18日(土)

結果：銅賞 1年 楠見 光太郎・久保田 菜南 2年 堀川 百花・木村 柚葵
2年 武田 桜・高井 まつり・中神 凜音・山本 朱莉



陸上競技部

◇第58回東京都中学校ロードレース大会区部大会：1月19日(日)

結果…女子2, 3年1km競走 2年 小松 優花 4組6位 3分53秒

女子 1年2km競走 1年 豊田 舞未 1組7位 8分38秒



男子柔道部

◇第31回東京都中学生学年別柔道選手権大会：1月19日(日)

結果…2年男子軽量の部 川中 大輝 第3位

3年男子超重量の部 細田 真大 第3位



女子柔道部

◇第31回東京都中学生学年別柔道選手権大会：1月19日(日)

結果…1年女子軽量の部 鎌田 緋奈 第3位 友廣 花恋 第5位

2年女子軽量の部 田中 さくら 第3位 木下 音々・飯島 瑛菜 第5位

3年女子軽量の部 橋上 葵 第3位

3年女子重量の部 村井 暁音 第3位

国語科

◇練馬区小中学校連合書初め展：1月25日(土)・26日(日) 練馬区立美術館 10:00~18:00

出品生徒 1年 中村 美月・久保田 菜南・関根 純玲

2年 大竹 埜乃子・木下 音々・木下 莉子・藤森 彩花

3年 錦見 夢花・杉山 広治・石田 優汰・栗津 咲・河野 亜海

